

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	・地域のイベントがあったり、クリスマス、冬ギフト、おせち等の年末商戦で、稼げる商材がたくさん出ているので、良くなる。
		コンビニ（店長）	・10月早々の改装休業に向けて在庫調整を図ったため、来客数がかなり減り、悪い結果となった。10月末には新装オープンするため、3か月後は改装効果が続いているとみている。
		コンビニ（経営者）	・11月になるとポジョレーヌーヴォーが出る時期で、予約をたくさん受けたので、少しは良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・身の回りには余り良くなる材料はないが、現在の株高などが手伝って、来店する客のムードも以前よりは少し和らいだり、良くなっているように見受けられる。人の動きも活発になれば、将来に期待ができる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・競合店出店から間もなく1年が経過するので、やや回復傾向である。
		スナック（経営者）	・忘年会の予約が少しずつ入ってきている。それほど期待はできないが、一応期待を込めて、やや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会利用は前年と比べて受注件数が増えている。ただし大型宴会が少ないため、売上は微減の見通しである。宿泊は順調に件数が増え、単価も上がってきている。
		都市型ホテル（営業担当）	・3か月後の12月は、ホテルは高稼働率の時期で、季節的にも期待できるのでやや良くなる。
		都市型ホテル（営業）	・地元大手自動車メーカーの不祥事で、間もなく国土交通省に対策報告書が提出される。忘年会については自粛が解かれ、逆に今まで宴会ができなかった分も含め、利用の拡大が期待できる。
		通信会社（営業担当）	・現在の売れ残り物件を含めて、販売促進のための値引きが増える可能性がある。
		通信会社（総務担当）	・主力商品の新モデルが出そろい、新旧併せて客の選択肢が増え、販売が増える。
		ゴルフ場（総務担当）	・天候次第だが、現状の9月見込みは前年同月比684名増加、10月見込みも395名増加と、前年を上回っている。
		設計事務所（所長）	・建設関連は件数が増えてきているので、やや上向き傾向である。
		商店街（代表者）	・商店街の秋の大型イベント準備で忙しくしているが、開催当日が天候の影響次第で客の購買に結び付くかどうか不安はある。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・天候が落ち着いてほしいが、今年は台風が多いので気温も定まらず、なるべく早く食欲の出るような気候になればと思っている。食品の相場も落ち着いてきているので、いくらか良くなると希望している。
		百貨店（営業担当）	・一部好調な商材は見受けられるものの、厳しい景況感に変わりはない。改善する要因は見当たらない。
		百貨店（営業担当）	・気温や天候、時期やイベントなどにより、部分的に好調な商品群が表れている。ただし、長続きはせず、店全体への好影響もそれほど大きくないため、トータルで見れば変わらない状況となる。
		百貨店（副店長）	・現在の好況は継続するとみている。駅周辺の新規出店、店舗改装が一巡するため、1周年の施策を盛り込み、対策を講じていく。
		百貨店（店長）	・地価や株価は上昇傾向にあるが、地方にはその恩恵が回っていないようである。
		スーパー（商品部担当）	・販促やイベントなどの集客で、売上等は維持できている。ただし、天候不順による農水産物の価格高騰の影響が今後、客単価、売上にどのように出るかによって、先行きは、現状維持が精一杯という感がある。
	コンビニ（経営者）	・来客数が伸びていないことが心配だが、現状維持できているので、単価を上げるように努力したい。9月はたばこの値上げの駆け込み需要が見込め、売上は上がる。しかし、10月からの人件費上昇による経費増を心配している。	
	衣料品専門店（販売担当）	・周りの状況を見ても、今後の景気が良くなる要素が見当たらない。来月は年金支給月で、当店の客のほとんどが年金生活者なので、その意味では若干は良いかもしれないが、全体をならしてみると、今後良くなる要素は見当たらない。万策尽きたというぐらいの感覚で、いろいろ手を打っているが、良い方法がなかなか見つからない。	

乗用車販売店（経営者）	・低位安定のままで変わらない。ただ、日米貿易交渉次第である。自動車など、総合的に日本に不利な結果に落ちてしまうと、経済構造や経済政策が大変なことになってしまう。
乗用車販売店（販売担当）	・1か月くらい前から、サービス、車両の売上共に、少しずつ上がっている。前々月も少し上向いていたので、少しは良くなるのではないかと。
乗用車販売店（販売担当）	・2～3か月先に景気が良くなる起爆剤のようなものは、地域的にないので、地道にやっていくしかない。とにかくこの2～3か月は新車、中古車販売、車検の入庫等が安定している。極端に良いわけではないが、周りの状況を見ても、このまま年末まではいくのではないかと。
住関連専門店（店長）	・景気に大きな変化はないものの、商品をインターネットで購入する動きが増えてきている。
住関連専門店（仕入担当）	・異常気象や災害の多発も不安要素を助長している。国際経済の不安定化も合わせ、現状からは変わらない前提としている。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・売上単価に変化はなく、秋から冬の商材販売にかかっている。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注状況に変動はないが、前年と比べると減少傾向である。
一般レストラン（経営者）	・今年に入って来客数の減少が続いており、回復する要因が見当たらない。
一般レストラン（経営者）	・秋から冬にかけてイベントに向けて、宣伝などで対策は練るものの、景気の良くなる要因は見つからない。周辺企業の景気も特別良いとは聞かず、給与が上がる話も聞いていない。
都市型ホテル（副支配人）	・10～11月はインバウンドの引き合いも多い。その他にも50名規模の予約が多く入っており、堅調な売上が見込める。
旅行代理店（経営者）	・高額商材に興味を示す客が、まだまだ少ない。
旅行代理店（所長）	・今年の紅葉は、例年に比べて早く進んできており、シーズンもそれに合わせて早めに落ちてしまう感がある。
タクシー運転手	・地方では、景気が良くなりそうにない。
テーマパーク（職員）	・前年以上に天候に左右されており、期待できない。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・12月の景気復活に期待はできない。大型店やガソリンスタンド、コンビニの退店が後押しして、期待できないムードを高めている。
住宅販売会社（経営者）	・政局がやっと決まって現政権が継続することになったので、消費税増税が正式に決まれば動きもあるとみている。それまでは現状のまま変わらない。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・特に理由はないが、やや悪くなる気がしている。
一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏が終わり、家電販売店はピークを越えてしまったので、2～3か月は落ちる。
スーパー（総務担当）	・売上は今年に入ってから好調を継続しているが、食品のみ良い状況で、衣料品と住居用品の売上が前年を下回っている。今後は若干悪くなっていくのではないかと。
コンビニ（経営者）	・競合店の影響でやや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・気温が下がってきて、来客数が減っている。
衣料品専門店（統括）	・当店は祭り用品専門でやっているが、秋祭りは10月でほぼ終わる。祭りが終わると、一般の衣料品等になるが、そちらは大大悪い状況である。来年の春まではそんなところでやや悪い。
一般レストラン（経営者）	・来客数が減少し、更に客単価も下がっているため、やや悪くなるのではないかと。
その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・人手不足で、新規案件受託に乗り出しにくい状況が続く。為替の影響で輸入食材の価格上昇が懸念され、単価が上げにくい中で、コストアップが重しになってくるとみている。
都市型ホテル（経営者）	・過去1年間の実績と比較し、やや悪くなる。
タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くならない。
タクシー（役員）	・労働者不足で、やや悪くなる。
通信会社（局長）	・ガソリン価格の高騰が止まらない。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レース売上が、50億円の大台を切るようになってきている。
美容室（経営者）	・地方の小都市では、景気が良くなるとは考えられない。長い間のデフレは、人々の心を諦めモードにしている。景気は低いところで安定したと解釈している。新たに美容室を開業する人をみると、勤務している方がどれほど楽か、オーナーになっても先行きがみえないのにと余計な心配をしてしまう。それほど景気は冷え切ってしまった。

		設計事務所（所長）	・ 幾つか問合せがあり、独立した弟子に仕事を回しているが、実際には予算が伴わないことが多い。
	x	通信会社（経営者）	・ 売上はじり貧状態が続く。高齢化、人口減、大手の地方進出に加えて、従業員の高齢化、人材不足と、五重苦である。ニュースで大手企業の所得増減などを取り上げるが、意図的なのか全国平均は公表しない。総務省発表の当地の平均所得は290万ほどで、これが現実である。これではニュースを見るたびに、従業員の士気は下がる。当地で景気が良いなど言ってる人はまずいない。これで好景気なのだとしたら、不景気になったらどうなるのか。この先行き不安がぬぐいきれないために、物が売れないのではないか。
	x	美容室（経営者）	・ 与党総裁選挙で、議員票では82%を獲得したが、党員票での55%には現総裁は全く触れなかった。地方軽視は相変わらず景気浮上はまた3年遠のいている。
企業 動向 関連  (北関東)		その他製造業 [ 環境機器 ] (経営者)	・ 太陽光発電箇所の増加が続くため、良くなる。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・ 新規の自動車部品やロボット部品等の量産立ち上がり予定があり、勤務体制を変更して増産対応する予定である。また、同業他社から様々な応援加工の依頼もあり、現場の稼働率は向上する見込みである。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・ 希望的観測も含まれるが、内示受注の状況では、かなり良い方向に向かっている。ただ、在庫が少し増えているようで、納入を抑えている感じなので、その辺が多少不安である。
		建設業（開発担当）	・ 現政権誕生後公共工事は順調で、今期の公共工事発注は前年比9%増、当社受注も前年比5%増である。今後も期待できる状況で、ひと安心である。
		経営コンサルタント	・ 大きくはないものの底堅い消費意欲、設備投資や教育訓練等の広い投資ニーズがあり、景気浮揚の素地はできている。ただし、人手不足がそれを阻んでいる。更なる革新的設備投資の機会や、消費に火をつけるきっかけが欲しいところである。
		化学工業（経営者）	・ 現在の状況が大きく上向くような材料は見当たらないが、悪くなるとも思いにくく、変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・ 各種原材料の値上げを要望されている。
		金属製品製造業（経営者）	・ 採算性のある仕事が増えてきて、これからも増える予定である。先行きが良くなるように、従業員も増やして頑張るつもりである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 新規取引先からの受注も、設計変更で計画が遅れている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ この2～3か月は非常に良いが、今後の見通しは、余り良くない。
		その他製造業 [ 消防用品 ] (営業担当)	・ しばらくはこのままで推移する。
		建設業（総務担当）	・ 受注した分をこなすのが精一杯になるとみているので、このままで進んでいくのではないかと。
		輸送業（営業担当）	・ 今後は冬物家電、ヒーターや電気カーペット、セーターなどの冬物衣料の輸送量は前年並みに確保する予想である。ただし、今年に入って台風、大雨、地震等の災害により、車両不足も発生し、よう車費の高騰や原油高による燃料コストの高騰もあり、利益確保が難しくなりそうである。
		広告代理店（営業担当）	・ 既に、来年の消費税増税へのマイナスマインドが広がっており、年末年始商戦への期待は薄い。
		司法書士	・ 特に開発が予定されているというような相談や準備段階という話が持ち込まれていないので、変わらない。
		社会保険労務士	・ 米中の関税をめぐる動向が、地域の大手輸出企業の業績にどう影響が出るのか分からず、先行きに不透明感が増している。
		その他サービス業 [ 情報サービス ] (経営者)	・ 客の投資意欲が旺盛で、今後も受注は増加するとみている。
		通信業（経営者）	・ 原油高が物価上昇にどれほど影響するか気になる。
		x	不動産業（管理担当）
雇用		-	-

<p>関連 (北関東)</p>	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は天候不順等で、生鮮食料品等の出回りも鈍っていたが、行楽等のレジャー、ホテル関係も含めて、幾分回復していく見通しである。ただし、住宅関連の新築は、まだ見通しがつかず、動きは出ていない。自動車、電機等の製造業は安定した募集傾向で、多少良くなるとみている。</li> </ul>	
	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正労働者派遣法から3年経過し、雇用安定措置として直接雇用される人材が増える一方、より好条件の求人へと人材の流動性が高まることが予想される。</li> </ul>	
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注増に対応する人手が不足しているとする企業が、依然として多いため、やや良くなる。</li> </ul>	
	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人がいなくて困っている。ただそれだけである。</li> </ul>	
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数を直近3か月と前年同期で比べると、5%増と増加傾向である。求職者についても同様に2.4%減少している。特に、運輸、土木関係の事業所は、人が集まらないとの話である。新規求人倍率、有効求人倍率共に、継続して高水準のまま推移している。</li> </ul>	
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年5月以降、有効求人倍率は2倍前後で推移しており、大きな変動はない。</li> </ul>	
	学校〔専門学校〕（副校長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数が多いと、求職者のわがままなえり好みにより、敬遠される企業、職種の求人が埋まらない。さらに、待遇面で企業間が競うことになり、こうした状況が好景気につながるとは感じられない。</li> </ul>	
	人材派遣会社（管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連の派遣、請負が3か月後にはなくなるので、やや悪くなる。</li> </ul>	
	x	-	-